



河床低下による崩落

志誠会
草賀 章吉

砂防堰堤設置が必要

Q 山間部の河川・沢の河床低下が進み、道路や森林の崩落が懸念される。事前に堰堤を設置することが必要。砂防堰堤工事の実態と見解を伺う。

県に要望をしていく

A 堰堤を設置する事業には、砂防事業と治山事業があり、市内では砂防事業は42基、治山事業は、800基設置しています。未だ堰堤等の対策が必要な箇所が残されているので、引き続き地元と調整を図り、事業の推進について県に要望していきます。

原野谷学園新たな学園づくり地域検討委員会の答申を受けて

Q 3月13日の地域検討委員会の答申から、すでに8ヶ月以上が経過した。どのような視点で検討がされているのか。大きなスケジュールについて伺う。

委員会を設置して、検討していく

A 教育の視点のみならず、まちづくりや防災、公共施設の再配置などの多面的な視点から研究を進めています。この研究成果を基に、来年度から外部有識者、学校関係者や市民を委員とした委員会を設けて、学区の再編成や学校施設の整備方針、スケジュールについて検討していきます。掛川型小中一貫校のモデル校としていち早く設置できるように努めていきます。

【その他の質問事項】

・縁結びプロジェクトの推進状況について

アクティブ
マネジメント・
公明クラブ
窪野 愛子

犯罪被害者等支援制度や条例制定を

Q 静岡県犯罪被害者等支援条例が平成27年に制定され、県内でも条例を制定した市町や検討中の市もある。今後、安全安心なまちづくりを目指すために、犯罪被害者等支援制度や条例制定に向けた検討についての見解は。



本年度開催された犯罪被害者等支援講演会のチラシ

どのような政策が考えられるか検討していく

A 誰もが安全で安心して暮らせるまちにすることが最も重要であると考えています。犯罪の撲滅から被害者への支援まで、

道の駅掛川等の防災整備への対応は

どのような政策が考えられるのか、検討していきます。現在、掛川警察署と情報共有を進めるとともに条例制定に向けた勉強会を開催しています。

Q 改訂された掛川市地域防災計画・地震防災施設の整備方針の中に、防災上重要な建物の整備として、道の駅等のオープンスペースの整備を図ると明記されているが、今後の取り組みについて伺う。

国土交通省と協定を結び対応していただく

A 道の駅掛川については、国土交通省と、防災機能の提供範囲の明確化や、避難者に対する適切な機能提供を目的とした協定締結に向け、調整を行っています。国土交通省では、全国の道の駅に優先順位をつけながら、非常用電源や防災備蓄庫の設置、防災トイレの配備などを進めていく予定です。